

第1回小林董信基金 採択者

■個人の能力向上助成(総額 50 万円)

- 西村幹也 「しゃがぁカレッジ」創設
- 駒谷漢人 「健常」と「障がい」の間から見える世界を広げる
- 高橋智美 道内・全国各地の共生社会を目指す活動をしている団体の視察
- 高橋亜由美 NPO 団体の発信力向上の支援

■新規プロジェクト助成(総額 200 万円)

- NPO 法人コミュニティシンクタンクいんくるらぼ(安平町) 「安心して
きる住まい」「美味しい食事」「自分らしく働ける仕事」
誰もが福祉(幸福)を享受できる地域共生社会モデルの構築
- NPO 法人ミラココ(豊富町) みんなが見守るひとりの空間～ミラ小個コ
コ 個室プロジェクト～
- 北海道小児膠原病の会(札幌市) 膠原病の子どもの交流および Web サ
イト「膠原病の子と家族のためのページ」作成
- NPO 法人道産子ヒーロープロジェクト(札幌市) 多胎児育児支援事業の
開発

北海道 NPO ファンドは、4 月 13 日理事会を開催し、第 1 回となる小林董信基金の採択者を決定しました。

このたびの選定では、小林董信基金の趣旨に鑑み選定委員のみなさんに選定プロセスづくりに積極的に取り組んでいただきました。

■選定会議のプロセス

12 月 26 日の書類審査会議(オンライン)においてプレゼンテーション審査の進行について決定し、1 月 16 日 24 日両日に行われた個人・新規プロジェクトすべてのプレゼンテーションの後、選定委員が合議により総合的に判断して内定者を決めました。

選定は、オンラインにより 1 月 24 日 19:30 から 20:30 まで行われました。

プレゼンテーションの内容

・12 月 26 日に、申請者を 4~5 人のグループに分け、グループワークを行うことになりました。

・グループワークでは、「2 分間のプレゼン」「他の申請者への質問」「他の申請者ワークのまとめコメント」「他の申請者への投票」を行う。

以上の方法により

・1 月 16 日に個人 1 人、団体 3 からなるグループワークを 1 回実施しました。

・1 月 24 日に個人 2 グループ(8 人)、団体 3 グループ(15 団体)のワークを実施しました。

■小林董信基金はみなさまのご支援によって運営されています

小林董信基金は、次代を担う人材を輩出することを目指しています。

https://npoproject.hokkaido.jp/?page_id=2301





人を育て、応援する

小林董信基金

こばやししげのぶききん

▶「小林董信基金」の趣旨

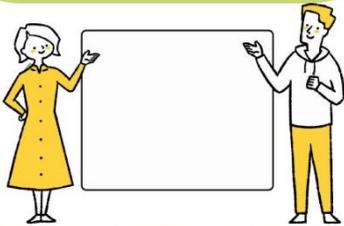
NPO法人北海道NPOサポートセンターの創設者であり、長きにわたり事務局長を務められ、北海道のNPO活動の基礎づくりに多大な貢献をされた故・小林董信氏を偲び、その足跡と功績を後世に伝えるため基金を造成しました。

小林董信氏が実践した「人を育てる」「人を応援する」ことを目的として助成を行います。

小林董信(こばやし しげのぶ)氏

北海道にNPOを広めた立役者。31歳で共同購入団体「たまごの会」を立ち上げ、35歳のときに「生活クラブ北海道」を設立(初代専務理事、90年退任)。1998年北海道NPOサポートセンター設立(初代事務局長)。「世の中を変える」ことを原動力に活動していた社会活動家。2021年6月に永眠。

新規プロジェクト支援助成



特定の目的、問題意識を持っている団体に対し、助成を行います。次世代リーダーの育成を目的とした助成として、団体リーダーへの支援がセットになった助成プログラムです。

※リーダーへの支援として、組織基盤強化や、課題のブラッシュアップ、出口戦略の構築などの伴走支援を行います。

- 応募資格：道内で活動している設立後3年以内のNPO（NPO法人・任意団体等）を対象とします。
- ※留意点 (1)一般社団法人・一般財団法人は「非営利型」のみ応募可能です。
(2)公益性のない事業、営利を目的とした事業、政治、宗教、思想等の目的に偏る団体・事業などは助成の対象となりません。
(3)新規に団体を設立して申請することも可能です。
- 助成額：総額200万円/2団体（1団体の上限は100万円）
- 助成用途：利用目的が趣旨に合致していれば、用途は問いません。
- その他：助成期間は最長3年間です(2年以上助成を受ける場合は、年度ごとに申請を行って頂きます)。

個人の能力向上支援助成



より良い社会づくりのため、自発的に活動する個人に対し、助成を行います。

- 応募資格：個人
- ※留意点 (1)公益性のない事業、営利を目的とした事業、政治、宗教、思想等の目的に偏る事業の実施を目的とした活動は助成の対象となりません。
- 助成額：総額50万円/2名（1名の上限は25万円）
- 助成用途：社会活動の次世代担い手育成を目的として、助成金の使用用途は下記を想定しています。
①外部の研修プログラム参加費用（国内外視察交通費など諸経費も含む）
②自らのアイデアを形にするための費用
③自ら設計した研究やフィールドワークなど、個々の知見、スキルを高めるもの
※利用目的が趣旨に合致していれば、用途は問いません。
- その他：助成期間は最長3年間です(2年以上助成を受ける場合は、年度ごとに申請を行って頂きます)。

「小林董信基金」

▶ 募集期間：2022年11月1日（火）～11月30日（水）
午後6時【必着】

募集要項

※HP掲載の要項も
ご確認ください

説明会の開催

▶開催日時

第1回:11月7日(月)18時半～19時半

第2回:11月16日(水)18時半～19時半

※2回とも内容は同じです。お申し込みをいただいた方に、後日zoomURLをお送りいたします。

▶お申込み

Googleフォームよりお申し込みをお願いします。

<https://forms.gle/7XEp5nCXsJk57cAC7>

説明会申込
QRコード



応募方法

応募にあたっては、北海道NPOファンドHPからダウンロードした申請書に必要事項を記入のうえ、添付書類とともにメール添付でご提出ください。※「個人の能力向上支援助成」については、添付書類不要です。

<新規プロジェクト支援助成の添付書類>

- ①【必須】団体の定款又は会則
- ②【必須】前事業年度の事業活動報告書・決算書類
- ③【任意】ニュース・会報、団体リーフレット、チラシ等、団体の活動の内容を示す資料

選考方法

書類審査後、プレゼン審査(12月中旬～下旬を予定)を行い、助成先を決定します。なお、応募書類受領後、問い合わせをさせていただく場合がございますので、その場合は応答のほどご協力お願いいたします。

決定通知

2023年1月下旬
助成先は個別に通知するとともに、北海道NPOファンドホームページ、『北海道NPO情報』等で広報します。
なお、応募提出書類は返却いたしません。

助成金支払いと 助成期間

- ▶支払予定:2023年3月中旬(予定)
- ▶助成期間:2023年4月1日(土)-2024年3月31日(日)

活用結果報告書 の提出

助成先団体/個人におかれましては、助成金活用後、「活用結果報告書」を提出していただきます。なお、了解を得たうえで、北海道NPOファンドホームページやパンフレット等で紹介させていただく場合もあります。

お問合せ先 応募用紙提出先

応募用紙の提出は、下記に記載の提出先まで、メールにてお願いいたします。
なお、応募用紙はホームページ(QRコード)からダウンロードすることができます。
メールによるお問合せの際は、件名を「2022年小林董信基金」としてお送りください。

- ▶小林董信さんを偲ぶホームページ（申請書類ダウンロードページがあります）
https://www.npoproject.hokkaido.jp/k_shigenobu/

ホームページ



申請書類
ダウンロード



【お問合せ・提出先】認定NPO法人北海道NPOファンド（担当：高山）
〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園201
HP:<https://npoproject.hokkaido.jp/> メール: npofund@npo-hokkaido.org
電話: 011-200-0973 / FAX: 011-200-0974

